

(様式第1号)

みなとSDGsパートナー 登録申請書

令和4年12月2日

国土交通省港湾局長 殿

みなとSDGsパートナー登録制度実施要綱第4条第1項に基づき、下記のとおり登録を申請します。

1. 概要

企業・団体名	村上建設株式会社
所在地	〒894-0006 鹿児島県奄美市名瀬小浜町 29-9
代表者役職・氏名	代表取締役 村上 誠
担当者連絡先	電話：0997-52-0625
	メール：fukuda@murakamikensetsu.jp
ウェブサイトURL	https://murakamikensetsu-amami.com/

2. 港湾関係企業等としての事業の概要

<p>弊社は、昭和42年に創業した総合建設業者であり、鹿児島県の港湾を中心として海上土木工事、浚渫、埋立工事の請負事業を実施している。</p>
---

3側面	SDGs 達成に向けた重点的な取組	2030年に向けた指標
<input type="checkbox"/> 環境 <input checked="" type="checkbox"/> 社会 <input checked="" type="checkbox"/> 経済	健康経営に継続して取り組み、従業員のヘルスリテラシーを向上させる	・ 特定保健指導実施率 【現状】2021年：64% 【目標】2025年：100%
<input checked="" type="checkbox"/> 環境 <input type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 経済	太陽光パネルで受電する現場事務所を設置し、再生エネルギーの利用を促進する。	・ 太陽光パネルを設置する現場数 【現状】1事務所/年間 【目標】3事務所/年間
<input type="checkbox"/> 環境 <input type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 経済		

## SDGs達成に向けた具体的な取組

カテゴリ	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																			
人権・労働	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	・人権尊重、差別の禁止についての方針が就業規則に明記されており、社員への教育を実施 ・ハラスメント相談窓口の設置					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	・ハラスメントの禁止について就業規則に明記し、違反した場合の懲戒処分を規定 ・ハラスメント相談窓口の設置					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8								16.1	
	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	・長時間労働是正の為に、労働生産性の改善、時間管理、多様な働き方を許容する勤務体制の整備、対応を行っている。								8.5 8.8									
	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	・外国人労働者の受け入れなし				4.4				8.5 8.7 8.8		10.2 10.3							
	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	・社員向けの労働安全衛生講習会の実施等を通じて周知徹底をはかっている。 ・管理者の設置や定期点検等を実施している。			3					8									
	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	・メンタルヘルスに関する方針策定や予防するための施策等が実施されている。 ・必要に応じ外部専門家への相談体制を確立している			3														
	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	・女性や高齢者、障害を持つ人などを積極的に採用するとともに活躍できるような配慮をしている。 ・人材育成の仕組みまたは柔軟な勤務形態が整備されている。					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							
	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	・職務役割等に応じた研修等が実施されている。				4	5.5			8	9								
	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	同一労働同一賃金ガイドラインに基づき、均等待遇及び均衡待遇の原則に従い、待遇差の解消に努めている					5.5			8.5		10.2 10.3							
	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	・経営トップを推進責任者として健康企業宣言を発信 ・健康経営優良法人2022を認定			3					8									
環境	【3Rの推進】 ・事業活動等から発生する廃棄物の管理及び処理を適切に行う等、3R（リデュース、リユース、リサイクル）の推進に取り組んでいる	・建設副産物の再資源化計画に基づき適正管理とリサイクル推進に取り組んでいる										11.6	12.4 12.5		14.1				
	【エネルギー】 ・自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている	・LEDライトやハイブリットカーを使用							7.3					13					
	【温室効果ガス】 ・自社の温室効果ガス排出量を把握し、排出量の削減を進めている	・環境性能型の起重機船を導入							7.2 7.3				12.4	13.3					

カテゴリー	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																			
14	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	・有害化学物質を取り扱うことがない			3.9			6.3				11.6	12.4						
15	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	・生物多様性保全に配慮するため、工事着手前に希少植物の調査を行っている。 ・外来種駆除等のボランティアに参加している。					6.6								15				
16	【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	・水資源の使用量の把握、利用効率改善の取組み					6.4 6.6												
17	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、または同等の環境マネジメント規格を取得している	・ISO14001の認証取得			3.9		6	7				12	13.3	14	15				
18	【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	・自社のホームページで開示していく										12.6							
19	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	・太陽光パネルで受電する現場事務所等を使用						7.2					13						
20	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	・環境・社会に配慮した認証製品の利用推進										12.2	13	14	15				
製品・サービス	21 【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	・ISO9001規格に基づく品質マネジメントシステムを運用し品質・サービスの安全性向上を促進			3.9							12.4							
	22 【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	・ISO9001規格に基づく品質マネジメントシステムを運用し品質・サービスの安全性向上を促進									9								
	23 【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	・製品やサービスの企画、設計時に環境への貢献を考慮し取り組んでいる					6					12	13	14	15				
24	【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	・製品やサービスの企画・設計時において地方創生、人手不足等の社会課題の解決に貢献できるかを検討している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
社会貢献・地域貢献	25 【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	・事業展開する地域の自治体やコミュニティと交流する機会を設け、事業がその地域に及ぼす影響等を把握している				4						9	11	12		14	15		17
	26 【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	・定期的に名瀬港や大熊港の海岸清掃に取り組んでいる				4						11			14	15			17
	27 【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	・地元の原材料を優先的に活用									8	9	11	12	13				

